

# 第8編 文化財の保護

## 第1章 文化財保護

### 第1節 文化財の指定と保存修復事業

文化財の保護を図るため、文化財保護法及び群馬県文化財保護条例に基づき、重要なものを文化財指定するとともに、保存修復事業等に対して事業費の補助を行った。

#### 1 指定文化財

次のとおり、国指定重要文化財1件、国指定名勝1件、県指定重要文化財4件が新規に指定、国指定史跡2件が追加で指定、国指定重要文化財2件が県外へ転出、県指定無形文化財1件が指定を解除された。これにより、国指定文化財合計141件（うち、国宝1件）、県指定文化財合計427件となった。

##### (1) 国指定

種別	名称	所在の場所	所有者	指定日
重要文化財	群馬県下宿遺跡出土品 深鉢形土器・土器片 石器 (附 石核・剥片)	太田市世良田町3113-9 (太田市立新田荘歴史資料館)	太田市	9月15日
名勝	湯畑	吾妻郡草津町大字草津370ほか	群馬県・草津町	10月13日
史跡	岩宿遺跡 (追加指定)	みどり市笠懸町阿左美3621 ほか	個人	10月13日
史跡	上野国佐位郡正倉跡 (追加指定)	伊勢崎市上植木本町2715-1 ほか	個人・伊勢崎市	2月13日

##### (2) 県指定

種別	名称	所在の場所	所有者	指定日
重要文化財	山王廃寺出土塑像群 (附 塑像群残欠一括)	前橋市総社町三丁目11-4 (前橋市教育委員会事務局 文化財保護課) 前橋市総社町総社1584-1 (前橋市総社歴史資料館)	前橋市	8月25日
重要文化財	山王廃寺出土塑像頭部	高崎市井出町1514 (かみつけの里博物館)	高崎市	8月25日
重要文化財	旧入澤家住宅	渋川市渋川1-1	個人	2月16日
重要文化財	近衛龍山詠薬師十二神 法楽十首和歌	吾妻郡草津町草津甲446	光泉寺	2月16日

(3) 国指定転出

種 別	名 称	所 在 の 場 所	所 有 者	転 出 日
重要文化財	太刀 銘備前国長船住 守家造／文永九年壬申 二月廿五日	東京都台東区上野公園13-9 (東京国立博物館文化庁分 室)	国(文化庁)	2月13日
重要文化財	脇差 銘備州長船元重	東京都台東区上野公園13-9 (東京国立博物館文化庁分 室)	国(文化庁)	2月13日

(4) 県指定解除

種 別	名 称	所 在 の 場 所	保 持 者	解 除 日
無形文化財	染織・江戸小紋	高崎市足門町	藍田正雄	7月9日

## 2 登録有形文化財

3件の建造物が登録有形文化財に新規に登録された。これにより、登録有形文化財(建造物)は335件、登録有形民俗文化財は2件となった。

(1) 登録

種 別	名 称	所 在 の 場 所	所 有 者	登 録 日
登録有形 文化財	群馬県立沼田高等学校 管理教室棟(旧沼田中 中学校校舎)	沼田市西原新町1510	群馬県	6月28日
	群馬県立沼田高等学校 屋内運動場(旧沼田中 中学校講堂)	沼田市西原新町1510	群馬県	6月28日
	野口家住宅主屋	みどり市大間々町大間々 1331	個人	10月27日

## 3 選定文化財

平成29年度は選定文化財の選定はなかった。これにより、国選定重要伝統的建造物群保存地区は2件、国選定重要文化的景観は1件、県選定保存技術は1件である。

## 4 選択文化財

平成29年度は選択文化財の選択はなかった。これにより、国記録選択は11件、県記録選択は1件である。

## 5 文化財保存事業費等補助

文化財の保存と活用を図るため、次の保存事業等に対して事業費の補助を行った。

### (1) 県指定文化財等

種別	名称	事業内容	市町村名	事業者名
重要文化財	さざえ堂	保存修理	太田市	曹源寺
	子持神社本殿	保存修理	みなかみ町	子持神社
	木造釈迦如来坐像	保存修理	川場村	吉祥寺
史跡	中筋遺跡	整備活用	渋川市	渋川市
	五料の茶屋本陣・お東	保存修理	安中市	安中市
	桐原郷蔵及び郷蔵文書	保存修理	みどり市	九友会
	旧小幡藩武家屋敷松浦氏屋敷	保護養生	甘楽町	甘楽町
	天明三年浅間焼け遺跡	保存修理	嬭恋村	鎌原区
天然記念物	三夜沢赤城神社のたわらすぎ	倒伏防止対策	前橋市	赤城神社
	連取のマツ	薬剤散布	伊勢崎市	伊勢崎市
	ヒメギフチョウ	下草刈り、間伐	渋川市	渋川市
	金蔵寺のシダレザクラ	薬剤散布	渋川市	金蔵寺
	妙義神社のウラジロガシ	倒伏防止対策	富岡市	妙義神社
	大久保のナツグミ	保護養生	中之条町	個人
無形民俗	月田近戸神社の獅子舞	用具の修理・新調	前橋市	近戸神社獅子舞保存会
	羽場日枝神社の獅子舞	民俗芸能大会出場	みなかみ町	羽場日枝神社獅子舞保存会

### (2) 国指定文化財等

種別	名称	事業内容	市町村名	事業者名
重要文化財	榛名神社本社・弊殿・拝殿ほか3棟	解体修理	高崎市	榛名神社
重要伝統的建造物群保存地区	桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区	修理・火災報知器設置	桐生市	桐生市
	中之条町六合赤岩重要伝統的建造物群保存地区	修理・買上げ	中之条町	中之条町
史跡	女堀	保存活用計画策定	前橋市	前橋市
	旧新町紡績所	保存活用計画策定	高崎市	高崎市
	箕輪城跡	復元整備	高崎市	高崎市
	北谷遺跡	買上げ	高崎市	高崎市
	女堀	測量・買上げ	伊勢崎市	伊勢崎市
	上野国佐位郡正倉跡	買上げ	伊勢崎市	伊勢崎市
	女体山古墳	買上げ	太田市	太田市
	瀧沢石器時代遺跡	保存活用計画策定・買上げ	渋川市	渋川市
名勝	躑躅ヶ岡	環境整備	館林市	館林市
	楽山園	環境整備	甘楽町	甘楽町
記録選択無形民俗	六合入山のネドフミとスゲ細工の技術	記録作成	中之条町	中之条町

## 第2節 文化財管理活用事業

文化財の保存活用を図るため、基礎調査や管理の徹底を進めるとともに、文化財の普及や活用事業を実施した。

### 1 文化財調査

#### (1) 特別天然記念物カモシカ食害対策特別調査及び通常調査

カモシカの生息環境・生息密度・分布範囲・食害状況等の調査について、越後・日光・三国山系カモシカ保護地域(六合村・中之条町・みなかみ町・沼田市・片品村)通常調査(調査員12名を委嘱)及び関東山地カモシカ保護地域(上野村)特別調査(委託)を実施した。

### 2 文化財パトロール

#### (1) 文化財パトロール

文化財保護法第191条の規定に基づき、文化財保護指導委員31人を委嘱、県文化財の管理状況についてパトロールを実施した。

#### (2) 高山蝶パトロール

ア 渋川市(ヒメギフチョウ)／保護パトロール員 28人、4月19日～6月21日実施

イ 嬭恋村(ミヤマシロチョウ・ミヤマシキチョウ・ベニヒカゲ)／保護パトロール員 23人、6月8日～10月17日実施

### 3 文化財普及

#### (1) 最新情報展

県内の発掘調査の成果の公表と埋蔵文化財保護思想の普及のため、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に委託して、県埋蔵文化財調査センター発掘情報館において、最新の整理成果から出土遺物・解説パネル等の展示を行った。

### 4 文化財保護行政指導者養成

#### (1) 埋蔵文化財専門講座

埋蔵文化財に対する知識と技術を研修し、市町村の埋蔵文化財行政と調査体制の充実及び学校教育と生涯学習の質的向上を目的とし、市町村の職員並びに公立・私立学校の教員を対象に(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に業務委託して講座を開設した。

#### ア 期日

8月1日～8月3日、9月5日～9月7日、9月12日～9月14日

#### イ 場所

県埋蔵文化財調査センター

#### ウ 受講者

38名

### 5 銃砲刀剣類の登録

銃砲刀剣類所持等取締法第14条の規定に基づき、美術品等として価値のある古式銃砲や刀剣類登録について、審査会を6回開催した。平成29年度の登録は、古式銃砲5件、刀剣類209件、合計214件。平成29年度末現在の登録総数は、古式銃砲1,234件、刀剣類53,915件、合計55,149件。

### 6 史跡観音山古墳保護管理

史跡観音山古墳の保存と見学者の利便を図るため史跡レンジャーを配置し、『見学用リーフレット』の配布・解説を行った。また、年度末には史跡上野国分寺跡とともに学習活動での利用を促すためのチラシを作成し、県内すべての小中学校、特別支援学校等に配布した。

平成29年度の見学者数は7,882人、うち石室見学者数は3,137人であった(前年度見学者数8,521人、石室見学者数4,306人)。

## 7 史跡上野国分寺跡保護管理

史跡上野国分寺跡の保存を図り、歴史的環境を整え活用を図るため、昭和55年度から史跡整備事業が実施され、平成24年度からは第2次整備事業が開始された。さらに、平成24年度からガイダンス施設の解説員を1名増員し、年末年始期間（12月29日～1月3日）以外を無休とした。

なお、県内国公立小中学校、中等学校、特別支援学校全校に利用促進パンフレットを配布し、校外授業、総合学習への利用を促し、施設内の展示物及び史跡を分かりやすく説明した。

平成29年度のガイダンス施設の入館者数は6,916人であった（前年度19,708人）。

## 第3節 埋蔵文化財保護管理事業

### 1 幹線交通埋蔵文化財調査

(1) 一般国道50号〔前橋笠懸道路〕（国土交通省から受託）

一般国道50号の建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査を、（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

ア 発掘調査事業

柳田遺跡の発掘調査を実施した。調査面積 2,840㎡

(2) 八ツ場ダム（国土交通省から受託）

八ツ場ダムの建設に伴う埋蔵文化財発掘調査を、（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

ア 発掘調査事業

石川原遺跡他、計18遺跡の発掘調査を実施した。調査面積 計132,347㎡

イ 整理事業

東宮遺跡他、計9遺跡の整理事業を実施し、8冊の調査報告書を刊行した。

### 2 公共開発関連埋蔵文化財緊急調査

公共開発に伴う事前調査で、事業関連の発掘調査と事業に係る出土遺物の整理を実施し、開発事業との調整を図った。

(1) （公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団実施調査

ア 発掘調査事業

国道353号金井バイパス（上信自動車道）・金井下新田遺跡他、計40遺跡の発掘調査を実施した。

調査面積 計122,598㎡

イ 整理事業

金井東裏遺跡他、計13遺跡の整理事業を実施し、6冊の調査報告書を刊行した。

(2) 群馬県教育委員会文化財保護課実施調査（試掘・確認調査）

県公共事業、国土交通省事業（八ツ場ダム、前橋笠懸道路、綾戸バイパス関係）において61件の試掘調査を実施した。

### 3 埋蔵文化財発掘調査等に対する補助金交付

市町村が実施した国庫補助事業による16件の市町内遺跡等発掘調査等事業に対し、19,949千円の県費による補助金を交付した。

### 4 埋蔵文化財緊急発掘調査の動向

開発に伴う届出等のうち、法第94条による調査件数は減少、第92条は横ばい、第93条は増加しているが、その伸び率は昨年度までに比べて鈍っている。民間開発に伴う法第93条では個人住宅や集合住宅建設、太陽光発電施設や携帯基地局の設置に伴う届出の件数が増加している。

(1) 平成29年度原因者別発掘(通知・届)

通知・届出	発掘調査		土木工事		計
	92条	99条	93条	94条	
道 路	37	83	5	66	191
鉄 道	0	0	0	0	0
空 港	0	0	0	0	0
河 川	4	7	0	5	16
ダム建設	24	12	0	0	36
学校建設	3	11	0	5	19
集合住宅	0	57	152	0	209
個人住宅	1	97	1543	0	1641
住宅兼用	0	0	8	0	8
店 舗	5	17	51	1	74
土地区画整理	2	21	9	19	51
ガ ス 等	0	8	316	33	357
工 場	1	16	24	0	41
農業基盤	0	18	2	4	24
農業関係	0	5	4	1	10
ゴルフ場	0	0	0	0	0
土砂採取	0	0	2	0	2
その他開発	20	172	674	33	899
観光開発	0	0	0	0	0
自然消滅	0	0	0	0	0
遺跡整備	0	0	0	0	0
公園造成	1	2	0	5	8
学術調査	1	2	0	0	3
保存目的	0	3	0	0	3
遺跡地図	0	0	0	0	0

5 県統合型GIS(「マッピングぐんま」)

県統合型GIS(「マッピングぐんま」)において、県民に最新の埋蔵文化財及び指定文化財に関する情報を提供することにより、文化財の活用を推進した。また、開発事業者等に最新の埋蔵文化財に関する情報を提供することにより、文化財保護法に基づく諸届出が適正に提出され、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整が図られた。

平成29年度データ更新件数

遺跡位置情報及び属性情報 66件

指定文化財位置情報及び属性情報 11件

6 古墳総合調査事業

前年度に執筆、編集を行った報告書を刊行し、県内の中学校以上の学校や市町村立図書館等に配布した。当初有償での販売は行わなかったが、入手希望が多数寄せられたことから、一般販売に向けた増刷を行った。

7 古墳情報発信事業

県内の古墳に関する情報を広く発信するため、古墳総合調査の成果を活用して古墳情報データベースとスマートフォン用アプリを作成した。アプリはルート案内や周遊チャレンジ等、古墳現地の見学に役立つ機能を盛り込み、年度末に公開した。また、前年度刊行した一般向け冊子『ぐんま古墳探訪』について、有償販売用の増刷を行った。

8 金井東裏遺跡出土甲着装人骨等調査事業

保存処理が終了した1号甲について、長期保管用の安定台を作成した。また、4体の人骨についても保管用安定台を作成。このうち、1号人骨(甲を着装していた成人男性)と3号人骨(首飾りを着けていた成人女性)は、県立歴史博物館の企画展で展示・公開した。